

終助詞の共起について

村 山 康 雄

Co-occurrence of sentence-final particles

Yasuo Murayama

Sentence-final particles add the speaker's attitudes to the proposition of the sentence, such as question, prohibition and exclamation.

In this paper, I will discuss the co-occurrence of these sentence-final particles. In section 1, the particles are divided into two groups: those which express the speaker's "strong attitude" toward the proposition and those which express his "weak attitude", according to Murayama (1991). The former particles do not ask for a reaction from the hearer while the latter ones do.

In section 2, we will consider each particle in the two groups and see what other particles can follow it. In the course of the discussion it is shown that all particles of both groups can be followed only by other particles expressing the speaker's "weak attitude".

We can say, from another point of view, that there are two types of sentence-final particles, those which can follow another and those which cannot.

0. はじめに

終助詞とは文の終わりについて、疑問・禁止・感動などの意味を添えながら文を結ぶ働きをする助詞である。

- (1) 明日晴れるだろうか。
- (2) 今日はずいぶん寒いなあ。

(1) の文では、「か」が話し手の疑問の気持ちを表している。(2) では「なあ」が詠嘆を表している。

本稿では、どの終助詞がどの終助詞と共起するのか・しないのかについて考える。まず、終助詞を聞き手に対する話し手の態度という観点から、二つのグループに分ける。そして、それぞれのグループに属する個々の終助詞が他のどのような終助詞を後ろに取るのかを見、それぞれのグループに属する終助詞間に共通点を見つけ出す。

1. 村山 (1991) による終助詞の分類

1.1. 村山 (1991) は助動詞「だろう」と終助詞との共起について、話し手が聞き手の反応を求めない終助詞は「だろう」と共起せず、求める終助詞は共起すると指摘している。そして、その理由は「だろう」は話し手の外部に根拠のない単なる推量・予想を表すものであるから、自分の発言に対して「弱い態度」を示すので、前者の話し手が一方的に自らの意見を述べる「強い態度」を表す終助詞とは共起しないが、他方後者の聞き手の反応を期待する「弱い態度」の終助詞とは共起すると説明している。

1.2. 「だろう」と共起しない終助詞

以下の終助詞は「だろう」と共起しない。

(3) 花子は明日学校に来るだろう—*{わ・ぞ・もの・の・とも}。

ここではこれらの終助詞について簡単に意味を見ていく。

1.2.1. 「わ」

軽く主張したり、本当にそうだという気持ちを表す。主に女性が用いる。

(4) 昨日は本当に楽しかったわ。

1.2.2. 「ぞ」

自分の発言を強調する。相手の意志を無視して自分の主張を押しつけようとする態度を表す。

(5) ほら、もう起きる時間だぞ。

1.2.3. 「もの」

形式名詞「もの」が文末に用いられ、終助詞化したもの。相手に対して、なぜ自分がそうしたのかなどの理由を、不平・不満・恨みの意味を込め主張するのに用いる。「だって」、「でも」などと呼応し、甘える気持ちがある。

(6) A: どうして遅れたんだ。

B: だって、昨日夜遅くまで起きていたんだもの。

1.2.4. 「の」

断定を表す。語調を和らげる。

(7) これお母さんに買ってもらったの。

1.2.5. 「とも」

「もちろん」という意味を込めて、自分の判断などに対する強い断定の気持ちを表し、疑いや疑問の余地を全く残さない確信の態度を表す。多く相手から質問をされた時や、同意を求められた時の返答に用いられる。

- (8) A：明日君の家に遊びに言ってもいい。
B：もちろん、いいとも。

1.2.6. 「だろう」と共起しない終助詞の共通の特徴

これまで見た終助詞は、話し手の主張を表す「わ」「ぞ」「もの」、断定の「の」、確信の「とも」である。

これらは共通して、話し手が一方的に自分の意見を述べ、聞き手にそれに対する返答・同意などの反応を求めている。つまり自分の発言に対する「強い態度」を示すと見えよう。それ故、話し手の単なる予想を表す「弱い態度」の「だろう」とは共起できない。

1.3. 「だろう」と共起する終助詞

以下の終助詞は「だろう」と共起する。

- (9) 明日は雨が降るだろうー {か・さ・ね(・な)・よ・ぜ}。

1.3.1. 「か」

疑問の気持ちを表す。

- (10) 部長は明日会社に来ますか。

1.3.2. 「さ」

自分の判断・推量を示し、それを自明のことであると言い放つ。しかし自分自身への指向性が強いが、聞き手をも含めて確認の気持ちを込めて話しかける意味合いも持つ。

- (11) これだけ努力したんだから、後は結果を待つさ。

1.3.3. 「ね」(・「な」)

話し手が自分の発言に対して、聞き手の同意・返答を求める時用いられる。「ねえ」(・「なあ」)の形もある。²

- (12) 今日は暑いですね。

1.3.4. 「よ」

相手に言い聞かせる気持ちで念を押すのに用いられる。

- (13) 富士山は本当にきれいな山だよ。

1.3.5. 「ぜ」

自分の発言について念を押ししたり、強めたりする。

(14) 今度の日曜日みんなでハイキングに行こうぜ。

1.3.6. 「だろう」と共起する終助詞の共通の特徴

以上の「だろう」と共起する終助詞は、相手に返答を求める疑問の「か」、確認を求める「さ」、同意・返答を求める「ね」（・「な」）、念を押し「よ」・「ぜ」である。これらは話し手が一方的に発言するのではなく、全て聞き手との関わりを求めていると言える。つまり自分の発言に対する話し手の「弱い態度」を示している。それ故、同じく「弱い態度」を表す「だろう」と共起すると言えよう。

2. 終助詞間の接続

2.1. 「強い態度」／「弱い態度」を表す終助詞

前節で終助詞を話し手が聞き手の反応を求めるか・求めないかによって以下の二つのグループに分けた。

「強い態度」を表す終助詞 わ・ぞ・もの・の・とも

「弱い態度」を表す終助詞 か・さ・ね（・な）・よ・ぜ

ここではそれぞれのグループごとに、個々の終助詞が他のどの終助詞と共起するのか——どの終助詞を後ろに取るのか——を見ていく。

2.2. 「強い態度」を表す終助詞

「強い態度」を表す終助詞は、「わ」・「ぞ」・「もの」・「の」・「とも」である。

2.2.1. 「わ」

主張の「わ」は「弱い態度」の「ね」および「よ」と共起する。

(15) あの人よくしゃべるわ—ね・よ・*{か・?さ・ぜ}。 (「弱い態度」の終助詞)
—*{ぞ・もの・の・とも}。 (「強い態度」の終助詞)

2.2.2. 「ぞ」

強調・主張の「ぞ」は「弱い態度」の「よ」と共起する。

(16) 明日はきっと雨だぞ—よ・*{か・さ・ね・ぜ}。
—*{わ・もの・の・とも}。

2.2.3. 「もの」

理由を主張する「もの」は「弱い態度」の「ね」と共起する。

- (17) だって、電車が遅れたんですもの—ね・*{か・さ・よ・ぜ}。
—*{わ・ぞ・の・とも}。

2.2.4. 「の」

断定を表す「の」は「弱い態度」の「か」・「さ」・「ね」・「よ」と共起する。

- (18) この辺りは静かなの—か・さ・ね・よ・*ぜ。
—*{わ・ぞ・もの・とも}。

2.2.5. 「とも」

強い断定を表す「とも」は「弱い態度」の「さ」と共起する。

- (19) A: 明日君の家に遊びに行ってもいいですか。
B: もちろんいいとも—さ・*{か・ね・よ・ぜ}。
—*{わ・ぞ・もの・の}。

2.2.6. 「強い態度」を表す終助詞が共起する終助詞の種類

上記の例が示すように、「強い態度」を表す終助詞は共通して「弱い態度」の終助詞のみと共起する。「わ」は「ね」・「よ」、「ぞ」は「よ」、「もの」は「ね」、「の」は「か」・「さ」・「ね」・「よ」、「とも」は「さ」を後ろに取る。「強い態度」の終助詞とは全く共起しないようである。

2.3. 「弱い態度」を表す終助詞

「弱い態度」を表す終助詞は、「か」・「さ」・「ね」・「よ」・「ぜ」である。

2.3.1. 「か」

疑問の「か」は「弱い態度」の「ね」・「よ」と共起する。

- (20) 太郎は近ごろ見かけないが、元気—か—ね・よ・*{さ・ぜ}。
—*{わ・ぞ・もの・の・とも}。

2.3.2. 「さ」

聞き手に確認を求める「さ」は「弱い態度」の「ね」と共起する。

- (21) 一生懸命やれば、なんとかなるさ—ね・*{か・よ・ぜ}。
—*{わ・ぞ・もの・の・とも}。

2.3.3. 「ね」

聞き手の同意・返答を求める「ね」の後に他の終助詞は来ない。

- (22) 今日はいい天気だね—*{か・さ・よ・ぜ}。
—*{わ・ぞ・もの・の・とも}。

2.3.4. 「よ」

念を押す「よ」は「弱い態度」の「ね」と共起する。

- (23) お互い今日は本当によく働いたよ—ね—*{か・さ・ぜ}。
—*{わ・ぞ・もの・の・とも}。

2.3.5. 「ぜ」

念を押す「ぜ」は他の終助詞と共起しない。

- (24) 今日は休講だぜ—*{か・さ・ね・よ}。
—*{わ・ぞ・もの・の・とも}。

2.3.6. 「弱い態度」を表す終助詞が共起する終助詞の種類

以上見たように、「弱い態度」を表す終助詞は全て、「弱い態度」の終助詞と共起するが、「強い態度」の終助詞とは共起しない。「か」は「ね」、「よ」、「さ」は「ね」、「よ」は「ね」を後ろに取る。「ね」と「ぜ」はどの終助詞とも共起しない。

3. おわりに

本稿ではどの終助詞がどの終助詞と共起するのか・しないのかを考察した。まず、話し手が聞き手の反応・返答を求めているのか・いないのかという観点から助動詞「だろう」との共起を分析した村山(1991)の分析に従って、終助詞を二つのグループに分けた。

「だろう」と共起しない聞き手の反応を求めない終助詞には「わ」「ぞ」「もの」「の」「とも」が含まれ、これらを「強い態度」を表す終助詞と名付けた。他方、聞き手の反応を求める終助詞には「か」「さ」「ね」「よ」「ぜ」が含まれ、「弱い態度」の終助詞と名付けた。

前者・後者のグループの終助詞とも「弱い態度」の終助詞のみと共起し、「強い態度」の終助詞とは共起しないことが示された。

逆の見方をすれば、つまり終助詞には他の終助詞の後ろに来ない「強い態度」のものと、後ろに来る「弱い態度」のものがあることになる。

村山(1991)の「だろう」との共起に基づく分類が、終助詞間の接続を見る上で、重要な役割を果たすと言えよう。

注

¹村山康雄 (1991)「助動詞「だろう」と終助詞との共起」『シルフェ』30号を参照。

²以降、「ね」が「ねえ」、「な」、「なあ」を代表するものとする。

参考文献

- Alfonso, Anthony. (1966) *Japanese Language Patterns*. Sophia University Press.
- Hinds, John. (1986) *Japanese*. Croom Helm.
- Jorden, Eleanor H. with Noda, Mari (1988) *Japanese: The Spoken Language*. Part 2.
- 松村 明 編 (1971) 『日本文法大辞典』 明治書院
- 森田 良行 (1977) 『基礎日本語 1』 角川書店
- 村山 康雄 (1991) 「助動詞「だろう」と終助詞との共起」『シルフェ』30号
- 上野田鶴子 (1972) 「終助詞とその周辺」『日本語教育』17号